

■検討スケジュール と まちづくりニュースの発行予定

令和7年度

令和7年11月 第5回まちづくり協議会（11/12開催）

第3回、第4回まちづくり協議会で検討した、まちづくり構想の各分野別方針の具体的なイメージや取組内容を基に、東伏見駅周辺地区のまちづくりの整備の方向性について検討しました。

まちづくり基本計画（中間まとめ案）のとりまとめ

令和8年2月 第6回まちづくり協議会（予定）

中間とりまとめ案の内容について検討します。

まちづくり基本計画（中間まとめ）の確定

パネル展示型説明会（予定）

まちづくり基本計画（中間とりまとめ）に関するパネル展示型説明会を実施します。

まちづくり基本計画（案）のとりまとめ

パネル展示型説明会・パブリックコメントの実施（予定）

まちづくり基本計画（案）に関するパネル展示型説明会及びパブリックコメントを実施します。

まちづくり基本計画の策定・公表

令和8年度も、引き続きまちづくり協議会でご意見を伺いながら検討を進めます。

ご意見募集

東伏見駅周辺地区のまちづくりに関して、地域の皆様のご意見をお聞かせください。

スマートフォンなどで右の2次元バーコードを読み込むとご意見フォームが開きます。



【お問合せ先】

まちづくり部 都市計画課 都市計画係
〒202-8555 西東京市中町1丁目6番8号
電話：042-438-4050 フax：042-439-3025
Eメール：toshikei@city.nishitokyo.lg.jp



リサイクル適性 A
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

第4号

2025.12発行
西東京市

東伏見駅周辺地区まちづくりニュース

『東伏見駅周辺地区まちづくり基本計画』策定に向けた意見交換を実施しています



市では、平成30年3月に西武鉄道新宿線東伏見駅周辺において、道路と鉄道の連続立体交差化を見据え、東伏見駅周辺をもっと住みやすく、いつまでも住み続けたいまちとしていくため、踏切が除去された後のまちの将来を考えた「東伏見駅周辺地区まちづくり構想」を策定しました。

現在、「東伏見駅周辺地区まちづくり構想」に示した東伏見駅周辺地区の将来像の実現に向けた方針となる「東伏見駅周辺地区まちづくり基本計画」の策定を進めています。

令和8年度の策定を目指し、地域住民や学生で構成する東伏見駅周辺地区まちづくり協議会を開催し、ご意見を伺いながら検討を進めています。

■まちづくり協議会における検討状況

開催日	開催内容
令和6年10月25日	<第1回> 内容：まちづくり協議会・連続立体交差事業の概要、今後の検討スケジュールの説明
令和7年2月5日	<第2回> 内容：東伏見駅周辺地区の現況と課題について意見交換
令和7年6月26日	<第3回> 内容：まちづくり構想に基づく具体的な取組内容について意見交換
令和7年8月21日	<第4回> 内容：まちづくり構想に基づく具体的な取組内容について意見交換

概要は内面へ
意見交換の

連続立体交差事業とは？

鉄道を高架化し、道路と鉄道を連続的に立体交差化する事業です。この事業の実施により、踏切が除却され、交通渋滞の解消、道路と鉄道それぞれの安全性の向上が図られます。



▲詳細は
コチラ

まちづくり構想とは？

市において、平成30年3月に策定した構想です。東伏見駅周辺で踏切が除却された後のまちの将来を見据え、まちの将来像や方針を示しています。



▲詳細は
コチラ



▲詳細は
コチラ

■まちづくり協議会での委員からのご意見

第3回・第4回まちづくり協議会では、まちづくり構想で示すまちの将来像や方針に基づく具体的な事業・取組のイメージや内容についてグループワーク形式で意見交換を行いました。ご意見の一部を紹介します。いただいたご意見を基に、地区のまちづくりの整備の方向性について、引き続きまちづくり協議会等で検討を進めます。

グループワーク実施方法

1班5~6名のグループを3つ作り、他都市の事例などを参考に「まちづくり構想」で示すまちの将来像や方針に基づき、「どこで」「どんなイメージで」「どのように過ごしたいか」をキーワードに具体的な事業・取組のイメージや内容について議論しました。

グループワークの流れ

- ・グループワークの方法、他都市の事例説明
- ・グループごとに意見交換
- ・グループごとに意見交換の結果を発表

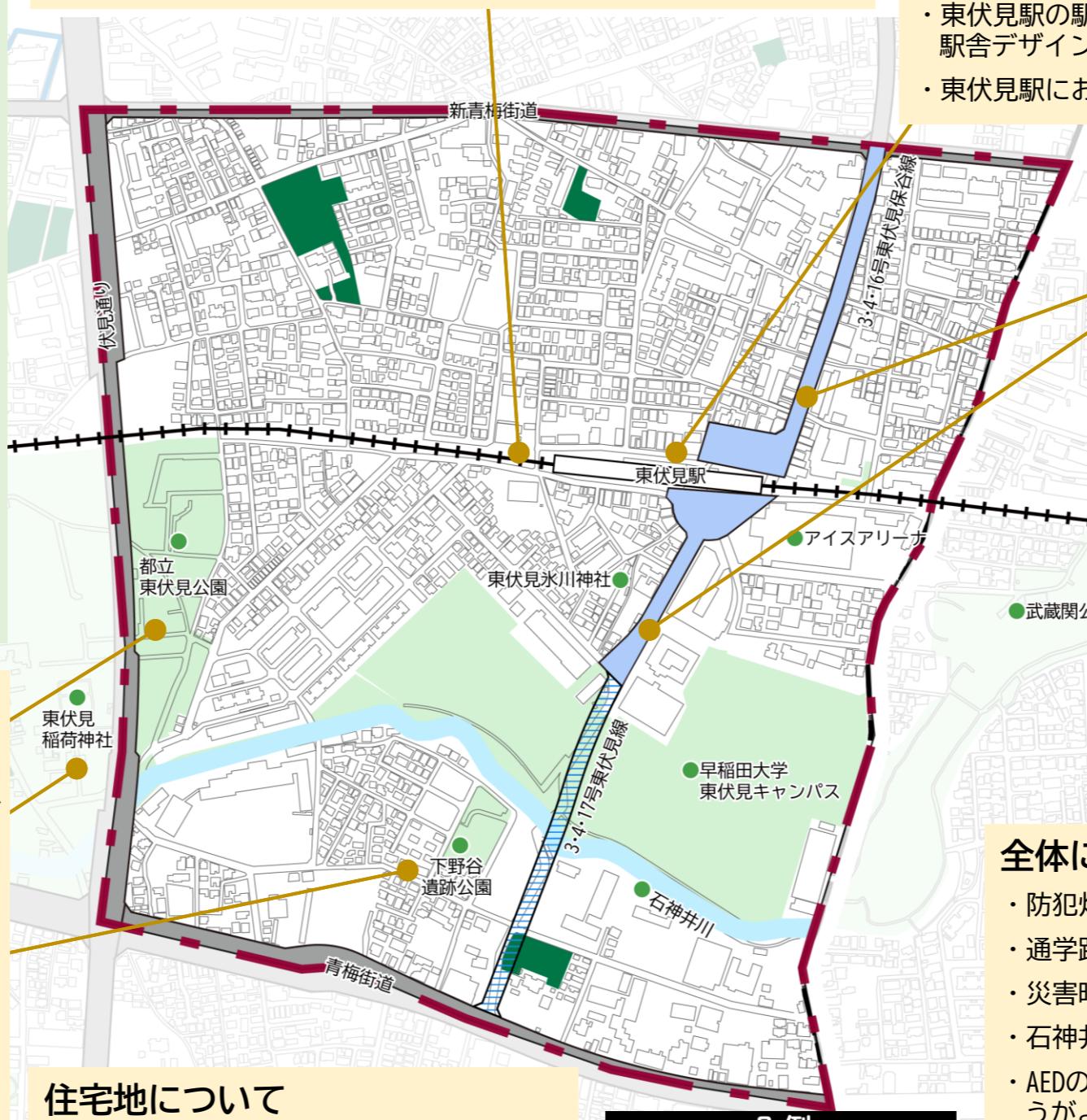


都立東伏見公園・東伏見稻荷神社・下野谷遺跡公園などの地域資源について

- ・都立東伏見公園の機能を拡充してほしい（バーベキュー、花火、ボール遊び、ベンチ増設、駐輪場増設など）
- ・東伏見稻荷神社までの参道のデザインにより、回遊性向上を図りたい（石畳風の舗装、温かみのある色の街路灯など）
- ・神社でのお祭りを盛り上げたい（東伏見稻荷神社、氷川神社）
- ・下野谷遺跡に関する資料館などの屋内施設や社会科見学ができるような施設を整備をしてほしい
- ・石神井川の回遊性・快適性向上を図りたい（LED照明設置など）
- ・芝桜やネモフィラ、ひまわりなどの花による観光化、四季折々の自然を感じることができる空間にしたい
- ・アイスアリーナの活用やリニューアルをしてほしい
- ・地域資源、特産品のPRによる地域の魅力向上を図る（地域協働により特産品を生み出すなど）

鉄道高架について

- ・高架下に防災倉庫、コワーキングスペース、下野谷遺跡PR記念館や、多世代交流施設などの施設を整備してほしい
- ・放置自転車が多いため、地下や高架下に駐輪場を整備してほしい
- ・駅北側の側道は歩行者や自転車の通行に配慮した整備としてほしい



住宅地について

- ・防災・防犯対策や緑化などの様々な取組により良好な住環境の維持したい
- ・農地の保全や活用をしたい（コミュニティ農園、農家カフェなど）
- ・老朽建築物の補助や壁面後退、危険なブロック塀の除去による地震対策をしてほしい

東伏見駅周辺について

- ・南北ロータリーの一体化、ロータリーの拡大、タクシー乗り入れ充実による交通利便性の向上を目指したい
- ・駅周辺における駐輪場・駐車場の整備が必要だと思う
- ・駅周辺の道路における歩行空間を確保したい（セットバックなど）
- ・東伏見駅の駅舎について、京都の稻荷駅のような地域資源を活用した駅舎デザインを目指す
- ・東伏見駅においては、ホームドアの設置や、西側にも改札がほしい

都市計画道路について

- ・幹線道路沿いの活性化、沿道用途の変更によるにぎわいの創出が必要だと思う
- ・幹線道路沿いの商業地では、1階部分への店舗誘導が必要だと思う
- ・歩道整備、道路拡幅、横断歩道や信号機の設置、歩車分離など歩行環境の向上により、まち歩きできるまちの形成を目指したい
- ・駅や地域資源などへのルートとなる3・4・17号線の未整備区間の整備を進めてほしい
- ・東伏見駅のロータリーに大型バスが乗り入れ出来るような道路整備をしてほしい
- ・3・4・17号線沿いに店舗を増やしたい
- ・3・4・17号線の歩道を拡幅、バリアフリー化など歩きやすくしてほしい
- ・道路の無電柱化をしてほしい

全体について

- ・防犯灯、防犯カメラの設置による防犯対策をしてほしい
- ・通学路の安全性確保をしてほしい
- ・災害時における安全な避難経路の確保が必要だと思う
- ・石神井川の溢水対策が必要だと思う
- ・AEDの設置場所、避難場所や避難ルートなどの周知を図ったほうがよい
- ・早稲田大学との連携によるにぎわい形成を図る（グランド、コートや体育館の利用など）
- ・地区に回遊性を持たせ、観光コースやウォーキングコースをつくり、スタンプラリーなどを実施したい
- ・下野谷遺跡や東伏見駅へのバスの乗り入れを検討してほしい
- ・東伏見駅から南側に保育施設が不足していると思う